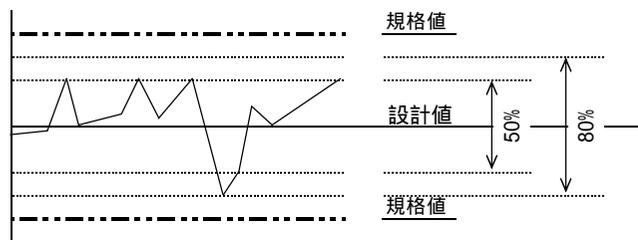


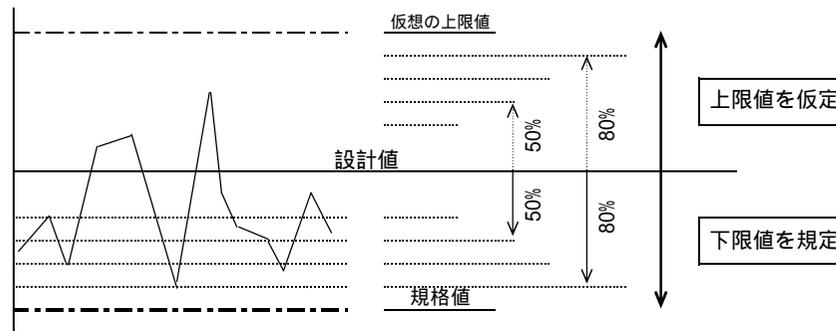
【留意事項】

1. 出来形及び品質のばらつきの考え方

〔管理図の場合〕



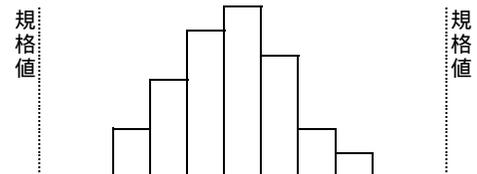
〔下限値のみの場合〕



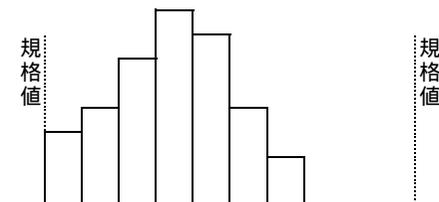
上限値のない場合のばらつきの考え方は、下限値と同様な値があるものと仮定してばらつきの%を考慮する。

〔度数表または、ヒストグラムの場合〕

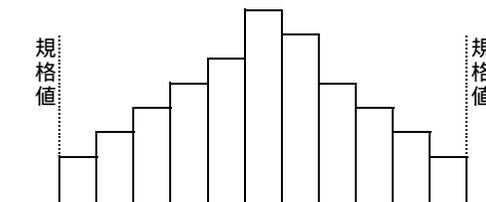
ばらつきが少ない



ばらついている



ばらつきが大きい



2. 多工種複合工事の取り扱い

- (1) 主たる工種で考査する。なお、多工種で評定対象が重要な場合はこの限りではない。
- (2) コンクリート橋については、プレテンション桁等、工場で製作される構造物も対象とする。

3. コンクリート構造物のクラックについて

- (1) クラックが発生した構造物では、「進行性または有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置をしている」等が見られたら、C評価とする。
- (2) 「進行性または有害なクラックがある」場合は未処理の場合は、状況に応じてdまたはe評価とする。

4. その他

- ・ 施工プロセスチェックリストを活用して、評定を行う。
- ・ 「4. 高度技術」「5. 創意工夫」「6. 社会性等」は、請負者から提出された実施状況に関する書類を活用して評定を行う。